6·9 理工学部 電気学科討論集会に総決起せよ!!

（安保・沖縄・六月斗争勝利）

PM 1:00 1号館133　授業ボイコット♪

建闘委情宣紙

コスモス

日大全共闘 理斗委 建斗委

連絡先 [illegible]

号外 NO.1 1970-06-09

図日大理工学部の学生諸君♪　とりわけ建築学科2年に在籍する学友諸君♪　5·23, 5·29における、学生自治の破壊およびロックアウト攻撃、我々は自らの責任において全学友と連帯して、そのような行為を弾劾しなければならない。現在、日本帝国主義段階においては、産業資本の平均利潤率の不均衡性は強力の激化、恐慌爆発性の強化によって恐怖に戦慄をみる資本主義の矛盾は拡大させフラ国内の危機には至らない。換言すれば独占の支配を国家との結合を媒介に国家内の不均衡発展の平均化を強行することによって、資本主義の最高の段階である帝国主義的体制は国家間の暴力的解決＝戦争しか残されていることを歴史は証明する。全ての帝国主義やめざそうとしているのは今ある帝国主義が確立した経済一支配一搾取コースであり、その体制である。もしてインドシナ、ベトナム問題といった諸矛盾を我々は解決するのである。安保により強化帝国主義政府は、また、この道を歩もうとしている。このような中に存在している日大において我々は自らの手によって授業放棄、学内の強化、全学生の結束の立ち上がりによって、6月斗争を闘いぬこう。

諸君！我々は斗争はこの問題斗争の最先端に立って6·3～6·5における最大決戦時期に病院闘争（医師・看護婦・技師・ホーム職員）、青医連、東大医科研・結核研の者と強く連帯して闘ってきた。医療機関の問題は、医療ベッド、産科における母子分離等々の医療の帝国主義的再編の問題、また、医療の設計に加わった最大産業＝つまり建築を学ぶ学生、及び建築界の者の問題なのであった。我々が主観的に、人間のため（医療・医療労働者のため）という名目でなされたとしても、それがもう体制の建築物になってしまうのである。建築物そのものが問われることを意味していたのである。「建築家とは何か」「建築家は何かできるか」「建築家は何をすればいいのか」我々はこういう問題を押さえつつ医療労働者・学生と連帯して闘っていた。

6·9 理工学部電気学科討論集会貫徹！

日大アウシュビッツ体制粉砕！

安保・沖縄・6月斗争に勝利するぞ！

6·9　東大・日大・理工系安保・沖縄討論集会
PM 1:00 東大本郷正門前　ほしゅう号[illegible]

6·10　理工学部総決起集会（[illegible]）
12:00 4号館前　1号館内集会貫徹！

6·13　六月斗争勝利！[illegible]アウシュビッツ体制打倒集会
PM 1:00 [illegible]公園　ほしゅう号[illegible]

6·14　全国反戦・全国学共斗統一行動
PM 1:00 代々木公園　ほしゅう号[illegible]